

《担当者名》竹生礼子[take-r@hoku-i ryo-u.ac.jp]

【概要】

様々なライフサイクル、様々な健康レベルの個人・集団・コミュニティを対象とした地域看護活動のあり方について学ぶ。コミュニティ概念の理解、地域の健康課題を明らかにするための情報収集とアセスメントの方法、活動計画、実施、評価方法について、文献講読、保健統計データの解読、討議等を通じて理解を深める。

【学修目標】

1. 地域を基盤として展開する地域看護活動の特質を理解する。
2. 個人・家族へのアプローチとコミュニティへのアプローチの連続性・統合を理解する。
3. 地域在宅看護活動のあり方と活動の方法を理解し、以下について説明できる。
 コミュニティの概念
 地域の健康課題を明らかにするための情報収集とアセスメントの方法
 活動計画、実施、評価方法(活動・評価モデルの活用)
4. プレゼンテーションのスキルを身につける(見やすい資料、分かり易い報告)

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション、地域看護学の定義と特徴	1.オリエンテーション 2.地域看護学の定義 3.地域看護学の特徴	竹生
2 3	地域・コミュニティの定義と看護活動	1.地域・コミュニティの定義 2.地域・コミュニティと人々の健康との関連	竹生
4 5	個人を対象とした地域看護活動(1)	1.個人を対象としたヘルスプロモーションの理念と活動 2.ペンダーのヘルスプロモーション理論の理解	竹生
6 7	個人を対象とした地域看護活動(2)	1.ペンダーヘルスプロモーション看護論を用いた事例分析	竹生
8 9	集団を対象とした看護活動(1)	1.集団を対象としたヘルスプロモーションの理念と活動 2.PRECEDE-PROCEEDモデルの理解	竹生
10 11	集団を対象とした看護活動(2)	1.PRECEDE-PROCEEDモデルを用いた事例の分析	竹生
12 13	地域を対象とした看護活動(1)	1.地域を対象としたヘルスプロモーションの理念と活動 2.コミュニティアズパートナーモデル(アンダーソン)の理解	竹生
14 15	地域を対象とした看護活動(2)	1.コミュニティアズパートナーモデルによる健康課題の分析 2.各専攻に関連する健康課題の分析と介入方法の検討(例:感染看護専攻の学生は、感染症の発生状況について保健所のデータの理解や地域アセスメントを行い、介入計画[目標、方法、評価方法等]の立案を試みる。)	竹生

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

プレゼンテーション（見やすい資料・わかりやすい説明）40%、
参加状況（準備・質疑）30%、レポート30%により、総合的に評価する。

【教科書】

適宜、資料を準備する。

【参考書】

1. ノラJ.ペンダー著・小西恵美子監訳:ペンダーヘルスプロモーション看護論,日本看護協会出版会
2. ローレンスW.グリーン・マーシャルW.クロイター著、神馬征峰監訳:実践ヘルスプロモーション,PRECEDE-PROCEEDモデルによる企画と評価,医学書院
3. Elizabeth T.Anderson, Judith McFarlane(Ed),金川克子・早川和生監訳:コミュニティズパートナー:地域看護の理論と実際,第2版,医学書院
4. 金川克子編:地域看護診断,東京大学出版会
5. 佐伯和子編著:地域看護アセスメントガイド,医歯薬出版
6. 奥山則子他:標準保健師講座1 公衆衛生看護学概論,医学書院
7. 尾崎米厚・鳩野洋子・島田美喜編:いまを読み解く保健活動のキーワード,医学書院
8. Nora J. Pender, Carolyn L. Murdaugh, Mary Ann Parsons:Health Promotion in Nursing Practice (5th ed), Pearson Education, Inc., Upper Saddle River, New Jersey.

【学修の準備】

1. 事前に配布する文献講読,および関連資料の収集と読解をして,プレゼンテーションのための資料作成,理解した点や疑問を整理して臨む。
2. プレゼンテーションの担当以外の際にも文献を読み,理解した点や疑問を整理してディスカッションができるようにして臨む。
3. 課題図書(テキスト)を読み,提示された課題に沿ってレポート作成とプレゼンテーションを行う。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

本科目の内容は、看護学における高度な専門性と研究能力を修得するという看護学専攻博士前期(修士)課程のディプロマ・ポリシーに適合している。